

生活科の実践

札幌市

生活科

2年

身近な野菜を栽培しよう！

たくさんなあれ！ミニトマト

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

単元の概要 と 単元構成

この単元は、内容（３）（５）（６）（９）に関連して、栽培活動です。比較的丈夫で育てやすく、給食や食卓に上がる機会の多いミニトマトを育てました。全員が同じものを育てることで、共通な話題が生まれます。また保護者、地域の企業やお店といった方から情報を集めやすいので、お世話を充実させることができました。

学習活動の流れ（１７時間）

広く植物に興味を持たせるために種集めをしました。

願いを込めたカードは掲示し、その思いをもち続けることができるようにかかります。

そのままで食べてもおいしいのですが、食育の観点から栄養士に話をしてもらいます。試食したドライトマトを家で作ってみる子どもがたくさんいました。

ミニトマトをうえてみよう（３）

- ・どれがミニトマトのたねだろう
- ・アサガオと比べて小さなたねだね
- ・水や肥料もあげよう。早く芽を出してね！

少し大きくなってきた！このままでいいの？（５）

- ・かわいい芽を観察したよ
- ・願いを込めてカードを作ろう
- ・〇〇なミニトマトになってほしいな

願いのこもったミニトマトになあれ！（３）

- ・どんな育ち方をするのか調べてみよう
- ・必要なお世話は何だろう

収穫したらどうしよう？（３）

- ・夏休みのお世話の方法は？
- ・おいしい食べ方を栄養士の先生に聞いてみよう

ミニトマト報告会をしよう（３）

- ・20個くらいなったよ
- ・おいしい食べ方を試してみました
- ・他の食べ方も教えてもらったよ

栽培活動も2年目。子どもたちは、今度は食べられるものを作ってみたいという期待をもっています。

1年生での栽培で培った気付きの眼を生かし、比較や交流しながら、気付きの質を高めていきます。



大きくなってきた

教材・活動の Point!



1. 自分の「こんな」思いをはっきりさせる

自分のミニトマトへの思いをはっきりさせるために、「こんなミニトマトになってほしい。」というカードを作成しました。自分の中の「こんな」をはっきりさせることが、必要なお世話を考えたり、お世話への意欲を継続させたりするためのきっかけとなります。

2. 比較することで、話し合いの観点を見付ける

比較するものがあると、「日当たりが一番大切だよ。」
「水をやりすぎない方がいいんだよ。」と、お世話のこだわり、思い、成長についてよりはっきりしていきます。
あまり育っていない教師のミニトマトに、いろいろなアドバイスをする姿が見られました。



3. 一人一人の気付きや疑問を交流させて

栽培活動は長期にわたり、それぞれ成長の度合いは違います。気付きや疑問の観点も変わりますが、教師が取り上げ、問題意識を交流していく中で、成長していく植物の様子に気付かせたり、子供同士や支援してくれた人とのつながりを深めたりすることができます。

